



予防のための応急手当訓練～乳幼児向け～ H30.12.2(日)



子どもは大人から見ると思いがけない行動や反応をすることがあります。子どもの特性と行動を知り、身の回りのちょっとした事に注意を払い、適切な対策をすることで事故を防ぐことができます。

センターでは、始良市消防本部に御協力をいただき、「予防のための応急手当訓練」を毎年開催しております。今年は大人数22名、子供5名、合計27名の方に参加していただきました。



ふかふかの寝具による窒息

「赤ちゃんに適した寝具を選びましょう」

柔らかすぎる敷布団や枕で寝かせたり、うつぶせ寝をさせると、赤ちゃんの顔が埋まって



しまい、鼻や口がふさがれて窒息する恐れがあります。

予防策：敷布団・枕は固めのものを使用必ずあおむけに寝かせましょう

熱いミルクなどによるやけど

「大人の注意で未然に防げます」

赤ちゃんにミルクを熱いまま与えるとやけどをさせる危険があります。

また、片手で赤ちゃんを抱きながら熱いものを取り扱う事は危険です。



赤ちゃんの皮膚は大人と比べ薄く、熱い物が掛かると重いやけどを負いやすく注意が必要です。

予防策：赤ちゃんを抱きながら、熱いものを取り扱わないようにしましょう。

タバコの誤飲

「赤ちゃんを第一に考え喫煙を」

タバコは2cm以上飲み込むとひどい中毒症状が出る恐れがあり、さらにタバコの溶けた水を飲むとニコチンの吸収が早く危険です。



赤ちゃんの周辺での喫煙も控えましょう。

予防策：タバコは赤ちゃんの手が届かない所へ空き缶を灰皿代わりに使わないようにしましょう。

熱中症

「一人にするのは最も危険」

赤ちゃんを自動車の中に残したままにしていると、暑い季節は熱中症になる事があり、時には死亡事故につながる事があります。



体温調節機能が未熟な赤ちゃんは大人よりも熱中症になりやすく、特に注意が必要です。

予防策：赤ちゃんを絶対に車の中に1人におかないようにしましょう。

ソファ・ベッドからの転落

「赤ちゃんから目を離さない」

ソファ等に寝かせた場合、寝返りの際赤ちゃんが転落する恐れがあります。



おむつ交換台から、保護者が目を離した際に赤ちゃんが転落する事故も起きています。

予防策：高い所に寝かせず、ベビーベッドの柵は常に上げておきましょう

乳児に対する心肺蘇生法の手順

(1) 反応を確認する

成人・小児と同じ方法で、足の裏を叩いて、刺激することも有効です。



(2) 助けを呼ぶ

救助者が二人以上いる場合、一人が心肺蘇生法を開始し、他の人が119番通報します。救助者が一人の場合や、協力者が誰もいない場合には、次の手順に移る前に、まず自分で119番通報とAEDの手配をします。

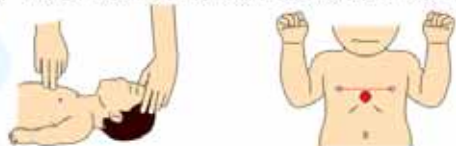


(3) 呼吸の確認

相手の顔に自分の顔を近づけ、目は胸をみて10秒程度観察します。

(4) 胸骨圧迫（成人・小児と基本的に同じ）

方法は、乳児では2本指（中指・薬指）で押します。位置は、乳児では左右の乳頭を結ぶ線の少し足側です。



圧迫の強さ（深さ）は、胸の厚みの1/3を目安として、十分に強く圧迫します。

テンポは、1分間に少なくとも100回の速いテンポで、絶え間なく続けます。

(5) 人工呼吸（口対口鼻人工呼吸）

呼吸がなければ、1回1秒かけ、胸が上がるの見えるまで2回息を吹き込みます。



乳児に対しては、「口対口鼻人工呼吸」を行い、口と鼻を同時に自分の口で覆います。

もし、同時に覆えないときは、通常の口対口人工呼吸で行います。

(6) 心肺蘇生法の実施

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回の組み合わせを、救急車が来るまで続けます。



浴槽への転落

「事故が起こる前にしっかり確認」

知らないうちに子供が浴室に入り、浴槽をのぞき込み転落し、溺れる恐れがあります。浴室には外鍵をつけて、子どもが勝手に入らないようにしましょう。



予防策：風呂の扉は施錠しておきましょう
入浴後は浴槽の湯を抜いておきましょう

けいれん発作時の症状



けいれん発作時の対応

けいれんの最中でも弱々しく息を不規則にしていますので、呼吸の介助を行って下さい。

けいれんの最中、口の中に物があると、気道を詰まらせる恐れがあり、その際は顔を横向きにして、分泌物などを外に出すようにします。

窒息しそうだからと、口の中に指や割り箸等を絶対に入れないで下さい。

怪我をする事になりますし、口の中を傷つけ出血した血液で窒息の原因となる恐れもあります。



けいれんが起こる前後に発熱が認められれば、熱性けいれんが考えられ、熱もなく突然けいれんを起こした場合はてんかんが考えられます。

多くは数分（2～3分）で自然に止まりますので、落ち着いて見守り、治まるまで観察して下さい。

生まれてから初めてのけいれんと、けいれんが数回にわたって起こる・長時間継続する場合は重篤な症状になる恐れがありますので、病院受診や救急車の要請をお願いします。



受診した方がいいのか？

- 鹿児島県小児救急電話相談
 - 相談時間 平日 19時～翌朝8時
休日 8時～翌朝8時
 - 相談員 看護師
- ☎ 県内統一 #8000
(但しダイヤル回線、光電話及びIP電話からの使用不可)

ダイヤル回線などからは

☎ 099-254-1186



小児対応可能な病院

- 鹿児島市夜間急病センター
099-214-3350
月～土 19時～翌朝7時
日・祝 18時～翌朝7時
- 霧島市医師会医療センター
0995-42-1171
月～金 19時30分～22時30分
土・日・祝 18時30分～21時30分



参加者の方から「とても勉強になった」「研修で習ったことを今後の生活に生かしたい」等の感想をいただきました。

みなさんの心がけひとつで、**大きなケガ**や**事故**を防ぐことにつながります。予防への意識を高め、大切な家族を守りましょう！



始良市消防本部の皆様、ご協力ありがとうございました！